

## ◎キンダリー透析剤 4E・◎AF4号 [注]

【重要度】 【分類】人工腎臓用粉末型透析用剤

【単位】◎組 [A剤+B剤]

【常用量】A剤2988.0gに透析用希釈用水を加えて溶解し、10LとしA液とする。B剤808.5gに透析用希釈用水を加えて、所定の容量に溶解し、これにA液10Lおよび透析用希釈用水を加えて350Lとする。通常、灌流液として150～300Lを用いる。

【用法】

【特徴】2号と3号の等量混合液。Ca<sup>2+</sup> 2.75mEq/Lの透析液。ブドウ糖濃度が125mg/dLである。粉末溶解装置で溶解し、血液透析を行う場合の灌流液として使用する。

【主な副作用・毒性】低Ca血症、骨合併症、低血糖など。Ca 3mEq/L液からの切り替えては低Caに傾く例、血圧が低下する例、筋けいれんをきたす例などに注意。

【更新日】20160109

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。